

新しい環境に進むにあたって④

来年度から、保育所、幼稚園、小学校へ行かれるお子さんをお持ちの方に知って頂きたいお話です。

● 新しい春への準備（前もってお子さんに伝えること） その1

卒園・入学・進級の日をを穏やかに過ごすためには…

まずは、進学や進級について、詳しい情報を予め確認しておくことが大切です。

懇談などの時に、いつでも詳しい情報を教えてもらえるかを聞いておきましょう（進級の場合も同じです）。

そして、確認した内容は、お子さんに分かるようなかたちにして準備しておきましょう。

お子さんと準備しておくこと

- 1, いつから、園や学校が始まるのかな？ → カレンダーを使う
- 2, 先生はだれかな？ → あらかじめ教えてもらい写真を用意する（新しい年度になってから）
- 3, 教室はどこかな？ → 見取り図で伝える、また、下見に行く（入学式の前日くらいに）
- 4, 自分の場所はどこかな？ → 本人の好きなマークをつける、名前を書く
- 5, 自分の持ち物はなにか？ → 本人に選んでもらう
- 6, 式やその他の行事は、どのようなプログラムで行われるのかな？
→ わかりやすいプログラムやスケジュールを作る



入学式も、卒園式も、進学も、みんな本人のもので。

本人がいかに居心地良く過ごしてくれるか、わかって参加できるかを考えましょう。

けして、あおりすぎないで。その日までの1日1日の方が、ずっと大事です。

準備はするけど、後は、お子さんを信じて。そして、当日は少々動いたり目立っても気にしないでね。

そういうものなんですから。式典は、窮屈で緊張するものです。

入園・入学式に必要なものは、子ども用の座布団と当日の式のスケジュール、終わった後のご褒美くらいでしょうか。

会場では、待つとか立つとかの位置をわかりやすくするとか、点呼があるなら名簿があるといいでしょう

（一人ずつ消していって、分かるようにするといいですよ）

卒園・業式は練習ができますが、入園・学式は一発勝負。

ですから、卒園式で少し式のイメージをつけてあげると入学式が楽になります。

だから、卒園式から式次第（スケジュール）とか名簿とか立ち位置などを、ぜひ取り入れてください。

ランドセルやその他、お子さんの持ち物は少しずつ出来ればご本人さんに選んでもらいましょうね。

そうすると、所有格がつきモチベーションも自然にあがっていきます。

当日の衣類は、普段と違うことがあります。

急に半ズボンをはくとか、新しい制服になるなどです。そういう細かい情報は前もって伝えておきます。

数日前から、ハンガーで掛けておくなど見慣れるようにしておくとお気持ちが向いていきます。

式が長すぎて、しんどそう（辛そう）なら待機場所を用意してあげてください。点呼が済んだら、お祝いの言葉の間は退席して退場のときに再度参加するといったことでも良いです（お子さんと決めてください）。

様子をみて臨機応変にしましょう。